

友だち募集中

全厚労公式  
LINEでも  
ニュース配信中!



# 全厚労ニュース

全 国 生 連 労働組合連合会  
〒110-0013 東京都台東区入谷 1-9-5  
TEL 03-3874-3591  
FAX 03-3874-3593  
発行日 毎月20日  
<https://www.zenkouro.org/>

## 広島労 地元の想いを国会へ

# 全国各地で奮闘する仲間たち



JR尾道駅前街宣署名行動する  
広厚労の仲間たち



4月19日、広厚労尾道支部でコ  
ナ前は恒例だった国会請願署名活動  
を今年度より再開しました。34名の  
仲間と共に、初夏を感じさせる晴天  
のもと尾道駅前署名を呼びかけま  
した。  
178筆の署名が集まり、また街  
頭演説では医療従事者不足や地域医  
療の現状を訴えました。



呼びかけに賛同し  
署名に協力してくださる  
住民の方々

若し組合員さんは初めての活動だっ  
たのですが、多くの学びを得る機会に  
なったと思います。  
今後も全厚労春闘スローガンの「動  
いて動いて動いて」を基に頑張ってい  
こうと思います。  
\*尾三側：尾道・三原の地域面のこと  
広厚労尾道支部長 今村恵利加

「頑張って下さい」など心温  
まる言葉もいただきました。観光客の  
海外の方も署名をしてくださいまし  
た。  
今回、報道各社に取材依頼もしまし  
たが、残念ながら当日の取材はありま  
せんでした。しかし尾道新聞が事前予  
告で署名活動を行うという記事を掲載  
してくれ、また中国新聞も尾三側\*で  
の地域医療問題の掲載を約束、今後の  
取材依頼の話もしました。

## 長厚労 全組合員で意思統一

4月21日、長厚労は第2回目の「経  
営協議会」交渉に合わせ、待機集会・  
宣伝行動を長野駅前にて行いました。  
家路に急ぐ会社員や学生が足を止め、  
我々の声に耳を傾け、署名していただ  
きました。街宣には45名が参加し、約  
30分余りで90筆を集めることが出来ま  
した。  
同時刻、中央執行委員は経営協議会  
へ直接交渉に臨み、各種課題について  
真摯に会と協議しました。



テキパキと宣伝をスタート

市民の想いを届けます



学生も関心もって

## 富厚労 251人が勝利を決意



こぶしを上げて団結を強める



賃上げ求め決意表明

4月5日、富厚労は富山県  
民共生センターサンフォルテ  
にて2025年春闘勝利総決  
起集会を251名の参加者の  
もと開催しました。  
来賓には全厚労より岩本執  
行委員長、富山県医労連より  
前田執行委員長にお越しいた  
だき、他団体との共闘の中、  
熱気ある集会となりました。  
議事では、各決議や春闘ス  
ローガン、闘争宣言、そして  
青年による決意表明があり春  
闘にむけて一致団結すること  
ができました。厳しい医療情  
勢ではありますが、春闘勝利  
にむけて闘い抜きます！  
富厚労執行委員長 向 慎司

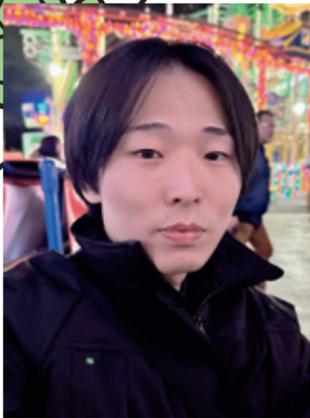
みんなで労働歌斉唱





# 頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。  
第205回は茨城・高知をお願いします。



茨城 加藤太河さん

茨城県県北医療センター高萩協同病院で臨床検査技師として働いている加藤太河です。趣味はNetflixを観ることです。  
組合活動は1年目で中央執行委員として活動しています。みんなが働きやすい職場になる助けになれるよう頑張っ活動していきたいと思っています。  
今後もみんなで組合活動を盛り上げて、より良い職場にしていきたいと思います。よろしくお願いします。

守る!攻める!あなたの心の右サイドハーフ、どうも!攻守一体型サッカープレイヤーの建沼です!

いや、間違えました。高厚労副執行委員長の建沼です。サッカー歴は小4から始め早24年。入社してから13年、執行部は11年目になります。そんな僕は、周りからよく言われます。優しい、愛しい、脚が速い。爆モテハットトリックです。そんなMVP級の俺は高厚労に必要な存在。執行部の右サイドハーフは俺しかありえない。サッカープレイヤーの建沼でした。

…と、偉大な先輩について高厚労後輩2人が誇張混じりに紹介させていただきました。



高知 建沼観秀(まさひで)さん

## まちかど珍画報 カクイシジュンスケ



MAGA:「メイク・アメリカ・グレート・アゲイン」の略。

もうやめろ (M) アメリカ大統領に (A) 限度なく (G) 荒される世界 (A)

### 今月はキーワードクイズ!

【問題】労働組合が毎年春に行う、賃上げ要求を中心とした労働条件や職場の環境改善のための闘争は?

答え『**シ** **ユ** **□** **□** **ウ**』

紙面をヒントに答え(5文字)を、右QRコードまたは下記あて先へお送りください。

締め切り:2025年5月末日 消印有効  
あて先:〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5-6F 全厚労 ニュース係

## 読者の声

本場に賃上げをお願いしたいです。電気代、食費などが値上がりし、家計を圧迫しています。(富山)  
—全厚労の春闘スローガンは「動いて、動いて、動いて」です。黙ってれば賃上げはない。みんながんばろう。(HT)

とても理解ある方々で、本当に恵まれていると思えました。(長野)  
—私も昨年は手術のため二度入院し、あらためて看護師の仕事の大変さを痛感しました。また職場はみんなの協力が必要ですよ。(OG)

嫌いな雨の日が有難いです。雨の日にできるお出かけや、スーパー銭湯などお勧めします☆(OK)  
—長年訪れたかった東北の花見に行く計画を立てています。4月の総務課は忙しくなかながお休みを取りづらいのですが、同僚と協力しあつて「取りたい時に取れるお休み」になってきています。調整しあつてリフレッシュして、お仕事も頑張りたいです。(北海道)  
—私もいつか角館や鶴ヶ城、弘前のお花見に行つてみたいです。人生一度きり、仕事も生活も充実させていきたいですね。(EN)

## 聞かせて・教えて!のコーナー

☆2月号で募集した「聞かせて・教えて」の結果発表☆

質問1 2月号で一番興味があった面は?

最も票が集まったのが春闘アンケートの中間結果をお知らせした4面7票でした。次いで新厚労のアピール行動のようすや春闘討論集会についての1面6票。ストライキの学習講演2面、定番面3面が同票4票となりました。

質問2 ついつい手が伸びてしまうオヤツは?

一番票が集まったのは「クッキーやチョコ」10票で、次いで「おせんべい」5票、「ようかん・和菓子」3票、「スナック菓子」2票、その他「飴」の声もありました。新歓や組合行事にお菓子を置いて、新しい仲間と会話に花を咲かせてみてはいかがでしょうか。

## さて、今回の「聞かせて・教えて!」は

質問1 4月号で一番興味があった面は?

A=1面 B=2面 C=3面 D=4面

質問2 新職へ伝えたい、職場の魅力は?

A=勤務時間の短さ B=休みの取りやすさ  
C=雰囲気・アットホームさ D=その他

全厚労X  
全国の活動を  
ポスト中!



読者の声、聞かせて・教えて、クロスワードはすべてQRコードよりスマホから投稿できます。氏名・住所・希望景品(図書カード又はクオカード)は必須事項です。

## 教宣部の つぶやき

シンボルマーク  
全厚労70周年記念シンボルマークの応募が少ない。現在、応募のあった作品は皆A-1に創りだ。時代だと言われればその通りだが、自分が古いのだろうか?人が考えた温かみのある作品を待っています!  
(AK)

# 看護師の地位と処遇の向上を!!

## 日本看護協会と懇談



全厚労ナースウェブで作成した「看護師増やそう」タオルを持って

3月26日、看護委員会は日本看護協会ビルJNAホール（東京都渋谷区）にて日本看護協会と懇談を行いました。23名が参加し、「人材確保」と「ハラスメント」のテーマで現場の実態を伝え協会の方針を伺いました。

日本看護協会（以下、協会）からは、労働政策部の堀川尚子部長、看護労働課の土屋あゆみ課長、他3名が参加されました。

冒頭、岩本中央執行委員長は、「厚生労働省に対し、看護職の地位をあげてほしいという方向性は同じ。今日は全国から現場の看護師が来ているので、看護労働の前進に一役たてればと思っている」とあいさつし、堀川部長からは「看護職をとりまく状況は大変厳しくなっている。協会

にも長時間労働、夜勤問題、ハラスメントの訴えを沢山頂いている。必要な法改正、制度改正、報酬上で看護職員の地位向上や処遇改善を働きかけていきたい。それには、現場で実際に働いている人の生の声をエビデンスとして活かしていくことが必要。改善していくべき点を承ればと思っている」と返されました。

### 多様な働き方がキーワード

人員確保のテーマでは、「多様で柔軟な働き方」がキーワードとなりました。協会は、人口減少で新卒の確保が難しくなり、就業継続やプラチナナースの活用を検討してきた状況を踏まえ、育児や介護等様々な理由から夜勤やフルタイムで働くことが困難な看護師が退職し、診療所などへ移ってしまいう実態に、フルタイムに縛られず、多様で柔軟な働き方を整備することで正社員のまま働くことを提案している。それを実現する為には、人員が足りていない中で、病院のマネジメントが重要であり、ICT等の活用で業務負担を減らし、看護師でなければならぬ業務を看護師ができるような体系づくりが必要との認識を示しました。



現場実態を伝える服部恵看護委員(三重)

現場でのマネジメントに課題  
山厚労から「ダイバーシティーマネジメント」や「多様な働き方」として、正社員で夜勤をしなくて良い働き方を導入した時に、夜勤希望者が今よりも減少してしまいうリスクがあり、組合としても対応していきたいがマネジメントが難しいと伝えると、協会か



勤の負担軽減策」としてのプラチナナースの活用など、現場の取り組みを伝えました。

**リフレッシュと学びで深める**  
**告知 第45回女性集会 in下呂温泉**  
 日時 2025年6月6日(金) 13:45~7日(土) 12:00  
 場所 岐阜県下呂市・下呂温泉 水明館  
 企画 学習講演  
 「知って守ろう女性の身体、女性の権利~自分のからだのこと、わかっていますか~」  
 講師:江夏 亜希子氏 (四季レディースクリニック院長)

特別報告、グループワーク「生理症状」、「妊娠・出産・子育て」、「更年期・介護」の3テーマに分かれ、働きやすい職場づくりについて意見交換・交流を深めます。

参加費: 27,000円

昨年の集会グループワークのようす

**告知 全厚労役員セミナー in姫路**  
 日時 2025年7月4日(金) 13:30~5日(土) 12:00  
 場所 姫路キャッスルグランヴィリオホテル (宿泊はシングル部屋)  
 対象者 労働組合初心者から組合役員候補者および現役員を中心とした、次世代を担う若手から中堅まで。上記基準は目安と致します。

企画案  
 第1講義 「労働組合のちから(仮)」  
 岡山県労働者学習協会 長久啓太氏  
 第2講義 財務諸表の見方  
 特別報告 支部活動や支部団交 (広島・長野等を予定)  
 団体交渉テクニック講座  
 模擬団交・グループ交流

参加費: 26,000円

らは、夜勤をやらないのであれば処遇で差をつけることも重要として、一律同じ処遇ではなく日勤のみの給料や、2交替がきつく辞める人がいれば、3交替で働く人の処遇でつなぎとめていくことや、多く夜勤できる人にインセンティブを付けるなどの考えを示しました。

三厚労から夜勤専従、2交替、3交替と個人に合わせて勤務を組んでいくことが管理職の大きな負担となっている。また、夜勤だけ他の病棟や救急外来に入るなど、看護師が希望する看護ができにくい実態を訴えました。

協会は、場所や時間などを固定した場合は「限定正社員」として、自由に動ける人が一番良い処遇になるような制度を提案。また三重の様な多様な働き方は先駆的であり、現状の勤務表ソフトでは対応が難しいが、勤務表ソフト業者に今後このような対応が主流になることを伝えていくことも重要と話されました。

三厚労から、現場では患者が自分で出来るようなことも看護師にやってと言われることもあり、看護師は専門職であってサービス業ではなく、患者さんや地域から看護師へリスペクトを持つてもらえるような取り組みを訴えました。

全国的な看護学校の定員割れについて、全厚労から看護師に興味を持ってもらうための対策を聞くと、協会は「看護の日」などのイベントや看護ちゃんグッズ作成、県協会の小中学校への出前授業実施、社会人へも看護職になってももらえるような魅力の発信をしている。また半数以上が短大卒で専門学生が減っている現状から、大人の転職には処遇が重要としました。

### 看護職へのリスペクトを

三厚労から、現場では患者が自分で出来るようなことも看護師にやってと言われることもあり、看護師は専門職であってサービス業ではなく、患者さんや地域から看護師へリスペクトを持つてもらえるような取り組みを訴えました。

厚生連病院では、トップメッセージとしてのハラスメント撲滅宣言の取り組み広がっていることを伝え、全国規模で看護協会と共にできることを尋ねました。協会からも、カスハラ実態把握を行い、努力義務での課題や現場の実態、支援について、一緒に考えていけたらと発言がありました。また、看護協会に寄せられるハラスメント相談は依然として医師や上司、職員間での相談が多く、職場内コミュニケーションや過重労働も要因と考えられる。「月刊看護」で患者ハラスメントの事例を報

告しているとして、具体例を述べられました。今年の懇談も現場の取り組みと協会の考え方を伝え合う大変有意義な機会となりました。労働組合と看護協会それぞれの立場はありますが、看護師の地位向上と処遇の改善はもろろん、人材確保・離職防止についても喫緊の課題であることは共通の認識として違いはないことを確認できました。看護師一人ひとりが輝いて働き続けることのできる職場を目指し、今後も全厚労看護委員会は邁進いたします。

カスハラ対策 好事例を共有



週休3日制について発言する 多田康江副看護委員長(広島)